## 7. 平成30年度 教職員 5年間の推移

H30.12実施 有効回答数29

No.	質問					
36	学校の教育活動について、教職員で日常的に話 し合っている。					
2	教育活動全般にわたる評価を行い、次年度の計 画に生かしている。					
3	カウンセリングマインドを取り入れた生徒指導を 行っている。					
4	教育相談体制が整備されており、生徒は学級担 任以外の教職員とも相談することができる。					
5	いじめ(疑いを含む)が起こった際の体制が整っ ており、迅速に対応することができる。					
6	生徒が望ましい勤労観、職業観を持つことがで きるよう、系統的なキャリア教育を行っている。					
7	生徒一人ひとりが興味・関心や適性に応じて進 路選択ができるよう、きめ細かい指導を行っている。					
8	学校行事が生徒にとって魅力あるものとなるよ う、工夫・改善を行っている。					
9	教育活動に必要な情報について、生徒・保護者 や地域への周知に努めている。					

	よくあ てはま る	ややあ てはま る	あまり あては まらな い	全くあ てはま らない	A 肯定 率 (%)
1	13.8	79.3	6.9	0.0	93.1
2	13.8	72.4	13.8	0.0	86.2
3	31.0	55.2	10.3	0.0	86.2
4	44.8	51.7	0.0	0.0	96.5
5	20.7	65.5	13.8	0.0	86.2
6	48.3	44.8	6.9	0.0	93.1
7	55.2	44.8	0.0	0.0	100.0
8	20.7	58.6	17.2	3.4	79.3
9	34.5	58.6	6.9	0.0	93.1
ı					